

# Aria Empatica

第三回公演

「上へ上へと流れる小川を引こう」

2024 8/18 日

開場 13:30 開演 14:00

※16:00 終演見込み

松本記念音楽迎賓館

入場料 1,000 円（全席自由）

J. S. バッハ：管弦楽組曲 第 2 番 短調 BWV 1067

J. S. バッハ：カンタータ第 104 番「イスラエルの羊飼いよ、聞きたまえ」  
BWV104 より

「まさにこの御言葉は我が魂の糧」、「幸福なるイエスの羊たちよ」

G. Ph. テレマン：「忠実な音楽の師」より 抜粋

A. ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲 ト短調「夏」RV 315

F. クープラン：パルナッソス山、またはコレッリ讃

A. コレッリ：四声のソナタニ長調 WoO 4

# Aria Empatica

第三回公演

「上へ上へと流れる小川を引こう」

2024 8/18



開場 13:30

開演 14:00

松本記念音楽迎賓館

「二子玉川駅」または「成城学園前駅」よりバス  
東急バス玉 31 系「岡本三丁目」から徒歩 5 分

入場料 1,000 円（全席自由）

A. コレツリ：四声のソナタニ長調 WoO 4

F. クープラン：パルナツソス山、またはコレツリ讃

A. ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集「和声と創意の試み」作品 8 よりト短調「夏」RV 315

G. Ph. テレマン：「忠実な音楽の師」より抜粋

J. S. バッハ：カンタータ第 104 番「イスラエルの羊飼いや、聞きたまえ」BWV 104 より

「まさにこの御言葉は我が魂の糧」、「幸福なるイエスの羊たちよ」

J. S. バッハ：管弦楽組曲 第 2 番口短調 BWV 1067

## わたしたちについて

通常のオーケストラでは取り上げられることの少ないバロック時代の作品に取り組みたい！ という意欲のもと、首都圏の社会人オーケストラで活動するメンバーにより結成されました。

団体名に含まれる Aria という言葉は音楽用語としては旋律的に歌われる独唱曲のことを指すと同時に「空気」や「態度」を指す言葉でもあり、Empatica は「共感を呼ぶ」といった意味を持ちます。作品と演奏する私たち、そしてお聴きいただく皆さまとの間に「共感」が生まれるような空間として演奏会を作っていきたいという思いを込めて命名しました。

## メンバー

帷子 絵里（ヴァイオリン）  
七種 理紗子（ヴァイオリン）  
佐々木 舞（ヴァイオリン）  
西巻 莉彩（ヴァイオリン）  
松島 孝（ヴァイオリン / バス）  
伊藤 夏青（ヴィオラ）  
善場 広子（チェロ）  
松屋 雄一郎（チェロ）  
杉本 健太朗（チェンバロ）  
小山 洸士郎（トラヴェルソ）  
根来 哲也（トランペット）

## この演奏会について

3 回目となる今回の演奏会では J. S. バッハの管弦楽の分野における代表作の一つ、管弦楽組曲第 2 番口短調 BWV 1067 を演奏いたします。この作品は私たちがこれまで取り組んできたどの作品よりも複雑で規模も大きく、ことフルート奏者には重要な、聖典ともみなされるレパートリーです。

しかし、今回この作品を取り上げるにあたり、楽曲も作曲家も神格化して扱いたくはありませんでした。影響を受けた先達の諸作や当時の時代の空気を伝えてくれそうな楽曲を交えて編んだプログラムを通じて、この作曲家の素顔に私たちの力の及ぶ限り迫りたいと考えています。

## お問い合わせ

### ◆チケットご予約

こちらのコードよりお求めください▶

※未就学児童のご来場はお断りしております。



### ◆連絡先

〔X (Twitter)〕 @aria\_empatica

〔MAIL〕 aria.empatica@gmail.com